



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 すてきナイスグループ株式会社
 コード番号 8089 URL <http://www.suteki-nice.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 日暮 清
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 大野 弘

TEL 045-521-6111

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	109,066	5.9	△1,055	—	△1,309	—	△1,723	—
28年3月期第2四半期	102,979	△1.8	△1,118	—	△1,383	—	△1,739	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △1,977百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △1,828百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△18.37	—
28年3月期第2四半期	△18.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	184,913	42,102	21.6	426.72
28年3月期	175,688	44,625	24.2	453.68

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 40,029百万円 28年3月期 42,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	245,000	2.7	2,000	22.8	1,600	40.5	800	43.4	8.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	96,561,195 株	28年3月期	96,561,195 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	2,754,055 株	28年3月期	2,749,364 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	93,809,814 株	28年3月期2Q	93,813,033 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 5
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
(2) 追加情報	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、住宅事業において一戸建住宅およびマンションの引渡し戸数が前年同期より増加したことなどから、1,090億66百万円（前年同期比5.9%増加）となりました。また営業損失は10億55百万円（前年同期比63百万円改善）、経常損失は13億9百万円（前年同期比74百万円改善）、親会社株主に帰属する四半期純損失は17億23百万円（前年同期比16百万円改善）となりました。

セグメント別売上高の内訳

(単位：百万円)

セグメント	部 門	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前連結会計年度
建築資材	建 築 資 材	81,402	82,684	167,858
住 宅	一 戸 建 住 宅	6,826	9,233	25,755
	マ ン シ ョ ン	3,834	6,473	19,669
	管 理 そ の 他	7,337	7,198	16,295
	計	17,998	22,905	61,720
そ の 他	そ の 他	3,577	3,476	9,022
合 計		102,979	109,066	238,601

【建築資材事業】

建築資材事業では、地震に強い家づくり、木のある暮らし、環境と健康や高齢者に配慮した住宅およびリフォームなど幅広い情報を発信する住宅総合展示会「住まいの耐震博覧会」を名古屋、仙台、京都、福岡で開催し、一般ユーザーからプロユーザーなど8万2千名を超える方々にご来場いただきました。また、「住まいの耐震博覧会」内に設けていた木材ブースを「木と住まいの大博覧会」として発展・独立させ、林野庁や（公社）国土緑化推進機構などの後援のもと、木造住宅、木を用いたインテリアと家具、中大規模木造建造物や「木育」などについて、楽しみながら木のことを学び親しめる木材総合展示会を開催しました。

「公共建築物等木材利用促進法」の施行以降、公共・民間の建築物の木造化や木質化の促進が図られるなか、東日本大震災で被災した宮城県南三陸町の「さんさん商店街」や「伊里前福幸商店街」移転新築工事をナイス㈱が代表者として参画・組成した共同企業体（JV）で受注、ナイス㈱が栄光学園（神奈川県鎌倉市）の70周年事業校舎建設工事における木構造部分の設計・施工を受注、それぞれ着工するなど、木造建築事業への積極的な展開を図りました。

これらの結果、本事業の売上高は826億84百万円（前年同期比1.6%増加）となり、営業利益は13億22百万円（前年同期比19.6%増加）となりました。

商品別売上高

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前連結会計年度
木 材	30,433	30,297	59,849
建 材 ・ 住 宅 設 備 機 器	50,968	52,387	108,009
合 計	81,402	82,684	167,858

【住宅事業】

一戸建住宅部門では、国が定める長期優良住宅の耐震、省エネ、維持管理や耐久性のいずれにおいても最高等級以上の高性能を実現した企画型注文住宅「パワーホーム ～Super High Quality & Good Price ～」、パワーホームのノウハウを生かして東北復興応援型住宅として開発した「フェニーチェホーム」を供給しています。また沖縄ではパワーホームのノウハウを生かしながら地域特性に合った「プレステージホーム」を開発、供給し始めました。当第2四半期連結累計期間における売上計上戸数は248戸(前年同期比27.8%増加)となり、売上高は92億33百万円(前年同期比35.3%増加)となりました。また、契約済未計上戸数は257戸(前年同期比27.2%増加)となりました。

マンション部門では、供給する分譲マンションは全て免震構造を採用する方針とし、「Noblesse(ノブレス)」ブランドとして安全・安心で快適な暮らしと地域の発展に努めています。当第2四半期連結累計期間におけるマンションの売上計上戸数は138戸(前年同期比62.4%増加)となり、売上高は64億73百万円(前年同期比68.8%増加)となりました。

管理その他部門の売上高は71億98百万円(前年同期比1.9%減少)となりました。

これらの結果、本事業の売上高は229億5百万円(前年同期比27.3%増加)となりました。なお、営業損失は11億87百万円(前年同期比2億32百万円改善)となりました。

I 一戸建住宅・マンションの契約・売上計上戸数実績

(契約戸数実績)

(単位：戸)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増 減
一 戸 建 住 宅	281	338	57
マ ン シ ョ ン			
首 都 圏	139	221	82
そ の 他	37	35	△ 2
計	176	256	80
合 計	457	594	137

(売上計上戸数実績)

(単位：戸)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前連結会計年度
一 戸 建 住 宅	194	248	733
マ ン シ ョ ン			
首 都 圏	84	120	321
そ の 他	1	18	113
計	85	138	434
合 計	279	386	1,167

II 販売用不動産の内訳

契約済を含む「完成販売用不動産」は、前連結会計年度末に比べ 11 億 11 百万円減少しました。建築中の「仕掛販売用不動産」は、マンションや一戸建住宅の建築が進んだことにより、前連結会計年度末に比べ 47 億 54 百万円増加しました。また、建築着工前の「開発用不動産」は前連結会計年度末に比べ 50 億 28 百万円増加しました。

「販売用不動産」合計では 86 億 71 百万円増加しております。

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第2四半期 連結累計期間末	増 減
完成販売用不動産	10,769	9,658	△ 1,111
仕掛販売用不動産	9,253	14,007	4,754
開発用不動産	18,945	23,973	5,028
合 計	38,968	47,640	8,671

【その他の事業】

その他の事業の売上高は 34 億 76 百万円（前年同期比 2.8%減少）となりましたが、営業利益は 33 百万円（前年同期比 100.5%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ 92 億 25 百万円増加し、1,849 億 13 百万円となりました。たな卸資産が増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ 117 億 48 百万円増加し、1,428 億 10 百万円となりました。支払手形及び買掛金は減少しましたが、借入金が増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ 25 億 22 百万円減少し、421 億 2 百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失の計上、配当金の支払いなどによる利益剰余金の減少、円高にともなう為替換算調整勘定の減少などによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ 63 百万円増加し、197 億 90 百万円となりました。

営業活動による資金の減少は、162 億 65 百万円（前年同期比 12 億 52 百万円の支出増加）となりました。主な内訳は、仕入債務の減少 67 億 50 百万円、たな卸資産の増加 88 億 35 百万円、税金等調整前四半期純損失の計上 13 億 77 百万円です。

投資活動による資金の減少は、10 億 7 百万円（前年同期比 4 億 38 百万円の支出減少）となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出 10 億 47 百万円、有形固定資産の売却による収入 5 億円、投資有価証券の取得による支出 6 億 29 百万円です。

財務活動による資金の増加は、173 億 87 百万円（前年同期比 49 億 37 百万円の収入増加）となりました。主な内訳は、短期借入金の増加 114 億 17 百万円、長期借入れによる収入 134 億 20 百万円、長期借入金の返済による支出 55 億 33 百万円、社債の償還による支出 14 億 20 百万円、配当金の支払額 3 億 75 百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 29 年 3 月期の連結業績予想につきましては、平成 28 年 5 月 13 日に発表いたしました数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成 28 年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成 28 年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第 32 号 平成 28 年 6 月 17 日）を第 1 四半期連結会計期間に適用し、平成 28 年 4 月 1 日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第 2 四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

(2) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第 26 号 平成 28 年 3 月 28 日）を第 1 四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,903	19,967
受取手形及び売掛金	32,674	32,535
商品	9,621	8,674
販売用不動産	38,968	47,640
未成工事支出金	539	1,376
その他	7,350	6,473
貸倒引当金	△66	△43
流動資産合計	108,992	116,625
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,702	10,742
土地	31,345	31,973
その他(純額)	3,635	4,082
有形固定資産合計	45,683	46,798
無形固定資産	517	476
投資その他の資産		
投資有価証券	13,237	13,762
その他	7,390	7,394
貸倒引当金	△132	△143
投資その他の資産合計	20,495	21,012
固定資産合計	66,696	68,288
資産合計	175,688	184,913
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,652	32,924
短期借入金	33,864	45,204
1年内償還予定の社債	840	840
未払法人税等	1,100	474
引当金	1,282	1,101
その他	7,019	8,001
流動負債合計	83,758	88,546
固定負債		
社債	4,480	3,060
長期借入金	29,720	37,684
退職給付に係る負債	1,008	1,055
資産除去債務	77	78
その他	12,017	12,385
固定負債合計	47,303	54,263
負債合計	131,062	142,810

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,069	22,069
資本剰余金	15,650	15,650
利益剰余金	3,714	1,525
自己株式	△673	△673
株主資本合計	40,761	38,571
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,579	1,643
繰延ヘッジ損益	△37	△43
土地再評価差額金	166	166
為替換算調整勘定	△493	△832
退職給付に係る調整累計額	583	523
その他の包括利益累計額合計	1,798	1,457
新株予約権	1	1
非支配株主持分	2,064	2,072
純資産合計	44,625	42,102
負債純資産合計	175,688	184,913

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	102,979	109,066
売上原価	89,764	95,014
売上総利益	13,214	14,051
販売費及び一般管理費	14,333	15,107
営業損失(△)	△1,118	△1,055
営業外収益		
受取利息	10	13
受取配当金	108	130
その他	200	196
営業外収益合計	320	340
営業外費用		
支払利息	543	550
その他	41	44
営業外費用合計	584	594
経常損失(△)	△1,383	△1,309
特別利益		
投資有価証券売却益	17	-
特別利益合計	17	-
特別損失		
固定資産除却損	7	8
その他	-	59
特別損失合計	7	67
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,374	△1,377
法人税、住民税及び事業税	329	320
法人税等調整額	△14	△60
法人税等合計	315	260
四半期純損失(△)	△1,689	△1,637
非支配株主に帰属する四半期純利益	50	85
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,739	△1,723

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,689	△1,637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	65
繰延ヘッジ損益	35	△6
為替換算調整勘定	△8	△338
退職給付に係る調整額	△139	△60
その他の包括利益合計	△138	△339
四半期包括利益	△1,828	△1,977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,875	△2,064
非支配株主に係る四半期包括利益	46	87

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,374	△1,377
減価償却費	887	855
のれん償却額	1	5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△11
賞与引当金の増減額(△は減少)	△213	△184
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	110	62
受取利息及び受取配当金	△119	△143
支払利息	543	550
持分法による投資損益(△は益)	△9	△42
有形固定資産除売却損益(△は益)	7	8
投資有価証券売却損益(△は益)	△17	-
売上債権の増減額(△は増加)	2,051	126
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,659	△8,835
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,415	△6,750
その他	△2,859	769
小計	△14,063	△14,966
利息及び配当金の受取額	113	142
利息の支払額	△499	△491
法人税等の支払額	△563	△950
営業活動によるキャッシュ・フロー	△15,013	△16,265
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△761	△1,047
有形固定資産の売却による収入	-	500
投資有価証券の取得による支出	△1,082	△629
投資有価証券の売却による収入	52	-
貸付けによる支出	△588	△1,223
貸付金の回収による収入	1,086	1,424
その他	△153	△31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,446	△1,007
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	9,053	11,417
長期借入れによる収入	9,525	13,420
長期借入金の返済による支出	△4,938	△5,533
社債の償還による支出	△720	△1,420
自己株式の売却による収入	0	-
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△375	△375
非支配株主への配当金の支払額	△61	△80
その他	△33	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,449	17,387
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△61
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,012	52
現金及び現金同等物の期首残高	25,571	19,726
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	11
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,559	19,790

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	建築資材	住 宅	計		
売 上 高					
外部顧客への売上高	81,402	17,998	99,401	3,577	102,979
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,255	140	2,396	380	2,777
計	83,658	18,139	101,797	3,958	105,756
セグメント利益又は損失(△)	1,106	△ 1,420	△ 314	16	△ 297

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建築工事業、ソフトウェア開発・販売事業、ホームセンター事業及び一般放送事業等を含んでおります。

②報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△ 314
「その他」の区分の利益	16
セグメント間取引消去	53
全社費用(注)	△ 874
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△ 1,118

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	建築資材	住宅	計		
売上高					
外部顧客への売上高	82,684	22,905	105,589	3,476	109,066
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,492	161	2,653	1,903	4,556
計	85,176	23,066	108,242	5,379	113,622
セグメント利益又は損失(△)	1,322	△ 1,187	135	33	168

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建築工事業、ソフトウェア開発・販売事業、ホームセンター事業及び一般放送事業等を含んでおります。

②報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	135
「その他」の区分の利益	33
セグメント間取引消去	88
全社費用(注)	△ 1,313
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△ 1,055

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。